

別記様式(第5条関係)

令和 2 年 3 月 30日

南国市議会議長

土居 恒夫 様

議員名

浜田 和子



令和元年度政務活動費の収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり
令和元年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

令和元年度政務活動費収支報告書

議員名 浜田 和子

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	76,294	研修会参加経費
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	9,458	全国農業新聞購読料、書籍
合 計	85,752	

3 残 額 34,248円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

第 1 号様式

令和元年度 政務活動費 出納簿

議員名 浜田 和子

[illegible]

※項目…	1. 調査研究費	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費	5. 要請・陳情活動費
	6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費		

第2号様式

政 務 活 動 記 録 簿

整理 番号	1	項目	1. 調査研究費 4. 広聴費	②研修費 5. 要請・陳情活動費	3. 広報費 6. 会議費
年 月 日	令和 元年 5月 9日 (木) ～令和 元年 5月10日 (金)				
相手方・ 調査先等	財団法人 日本自治創造学会 第11回日本自治創造学会研究大会				
場 所	東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーホール				
活動内容 等 (目 的、 内容、結 果、所感 等を記 入)	●行程 (5/9) 高知龍馬空港＝羽田空港＝モノレール＝山手線＝東京グリーンパレス泊 (5/10) 山手線＝モノレール＝羽田空港＝高知龍馬空港 ●研修内容 ☆講演 1. 自立へのシナリオを語る 穂坂 邦夫 (日本自治創造学会理事長) 2. 真の地方創生と地方自治 片山 善博 (早稲田大学公共経営大学院教授) ☆事例発表 1. 地域ビジネスを成功させる知恵と実践 竹井 智宏 ((株)MAKOTO代表取締役) 2. 外国人対策 谷畑 英吾 (湖南市長) 3. 地方はチャンス～1粒1000円のライチの奇跡～ 齋藤 潤一 (財こゆ地域づくり推進機構代表理事) ☆講演 1. ゆでガエルにならないために 齋藤 健 (前農林水産大臣 衆議院議員) 2. SDGsと地方循環共生圏 中井徳太郎 (環境省総合環境政策統括官) 3. 日本の課題と可能性 村上由美子 (OECD東京センター所長) 4. スポーツが持つ力と地域活性化 藤江 陽子 (スポーツ庁審議官) 5. 日本が売られる～自治体は最後の砦～ 堤 未果 (国際ジャーナリスト) ☆パネルディスカッション 新時代到来！～地方はどう生き残るか～ 問題提起 金井 利之 (東京大学大学院法学政治学研究科教授) パネリスト 牛山 久仁彦 (明治大学政治経済学部教授) パネリスト 土居 文朗 (慶應義塾大学経済学部教授) パネリスト 山下 祐介 (首都大学東京人文科学研究科教授) コーディネーター 穂坂 邦夫 (NPO法人地方自治政策研究所理事長) ●所感 社会変化に伴い、今後の自治体に必要な事柄は何か、地方でどのような取り組みがなされているのか、考え方を学んだ。				

	人口減少・地方創生が主眼の講演であったが、国の政策に対し、地方自治体の取り組みについて、議員サイドはどういった視点で意見を言うかには注目させられた。それには勉強や知識量がかなり必要と思われた。また、国内の人口が減る中、世界の人口はどんどん増加していく。農業も外国を意識した生産販売を考えていくことにおいて、大いに希望があることを改めて確認し、どうすれば自分たちの地域の農業を世界へ売り出せるのかを思索していきたい。海外へ輸出する農業が増えることで、海外へ輸出なんて出来ない農業者にも市場が拡大する可能性もあり、農業の未来は人口減少を負としない取り組みが出来そうだ。南国市は県と一体になって進めていくべきだと思う。SDGsに取り組む課題を明確にし、持続可能な社会づくりにも具体的に身近な取り組みを明確にしていきたい。			
活動に 要した 経費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)
	龍馬空港～ 羽田空港	航空機	10,090 (往路) 12,490 (復路)	22,580
	羽田～高田馬場	モノレール・JR	往復 637 円 × 2	1,274
	宿泊費	研修費、宿泊費		24,000
	日 当	2,000 × 2		4,000
	その他			
	合 計			51,854
備 考				

議員名 浜田 和子

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

第2号様式

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 浜田 和子

整理 番号	2	項目	1. 調査研究費 ② 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和 元年 10 月 24 日 (木)				
相手方・ 調査先等	TRCセミナー「まちの課題を解決する図書館」 株式会社図書館総合研究所				
場 所	図書館流通センター関西支社 大阪府吹田市広芝町 18-24				
活動内容 等 (目 的、 内容、結 果、所感 等を記 入)	●行程 10月24日(木) JRごめん駅=新大阪=江坂(地下鉄御堂筋線) 江坂(地下鉄御堂筋線)=新大阪=JRごめん駅 ●セミナー内容 講師 稲沢克祐(関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科 教授) 政策実現への財政議論～年間サイクルで押さえる予算・財政議論のツボ 社会保障経費と社会資本更新経費の増大が余儀なくされているときにあって、限られた財源をより一層有効に活用していくための参考となると思いセミナーに参加した。①決算審査と予算審議との連動②財政情報の読み解き方③行政評価情報の読み解き方の三点から整理した解説があり、予算・財政関連の年間スケジュールを理解することの必要性が学べた。今後は、議会における財政の判断力をつけていきたい。				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	ごめん駅 ～新大阪	J R	17,080 (往復)	17,080	
	新大阪～江坂		180×2 (往復)	360	
	セミナー参加費	研修費		5,000	
	日 当			2,000	
	その他				
	合 計			24,440	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。